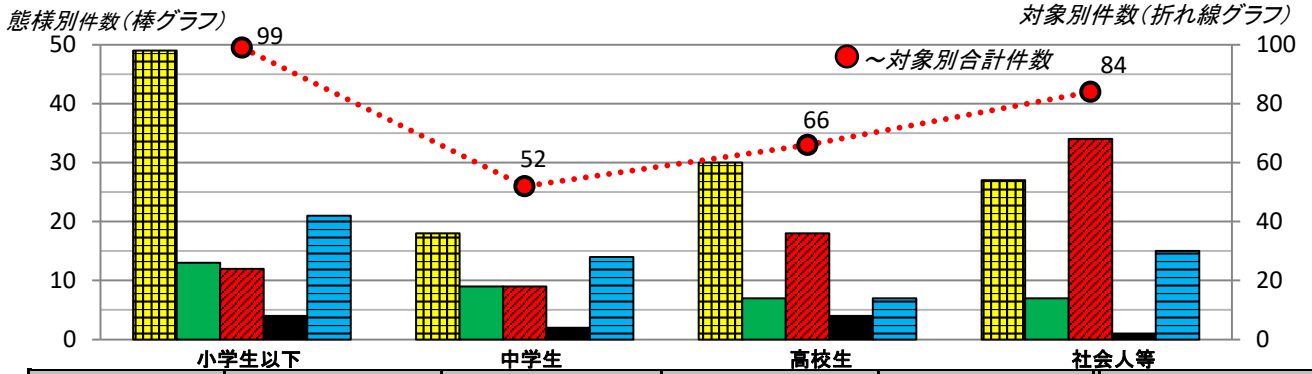


声掛け等事案の認知状況【令和6年】

1 本資料について

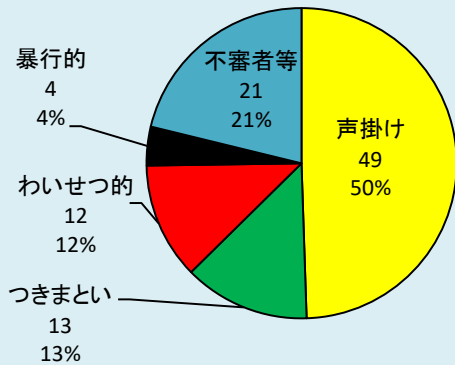
- 声掛け行為……対象者(被害者)に卑わいな言葉、誘惑する言葉、乱暴な言葉などを掛ける行為
- つきまとい行為……対象者(被害者)につきまとい、立ちふさがり、待ち伏せするなどの行為
- わいせつの行為……対象者(被害者)に抱きつき、触れるほか、のぞき見、盗撮、身体を露出するなどの行為
- 暴行的行為……対象者(被害者)の手、足、衣服等をつかむ、叩く、引っ張る、物を投げつけるなどの行為
- 不審者等……上記4つの行為に該当しない行為で、容姿を写真撮影する、見つめるなどの不審な行為

2 発生状況(令和6年)

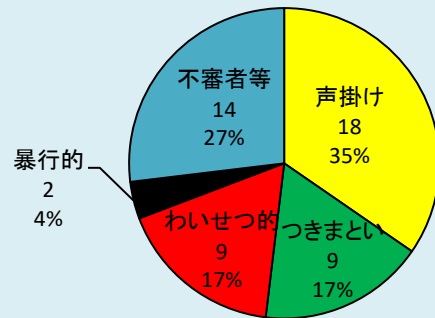


態様 \ 対象	小学生以下	中学生	高校生	社会人等	合計(件)
声掛け	49	18	30	27	124
つきまとい	13	9	7	7	36
わいせつの	12	9	18	34	73
暴行的	4	2	4	1	11
不審者等	21	14	7	15	57
合計(件)	99	52	66	84	301

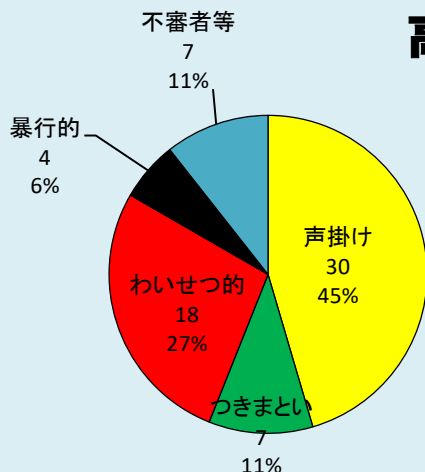
小学生以下



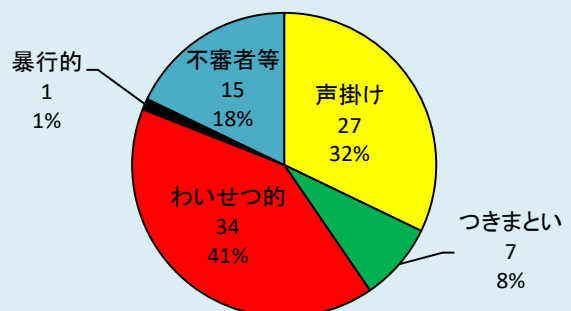
中学生



高校生

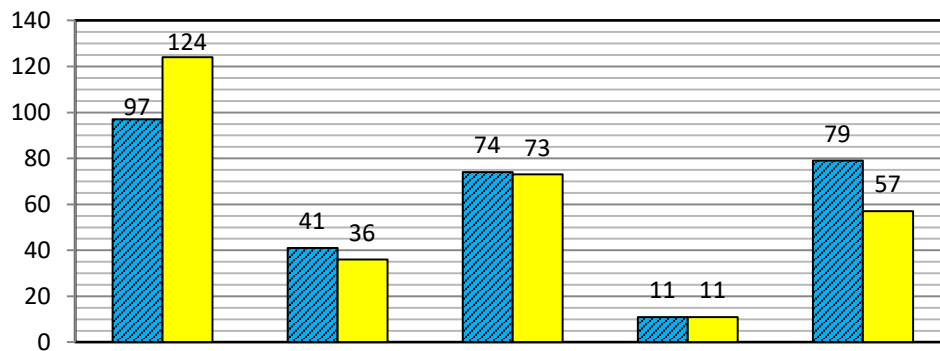


社会人等



3 前年との対比

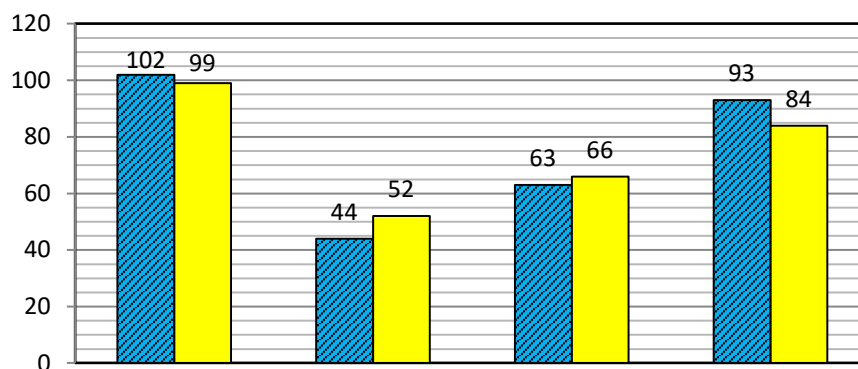
(1) 態様別



区分		声掛け	つきまとい	わいせつ的	暴行的	不審者等	合計
	令和5年中	97	41	74	11	79	302
	令和6年中	124	36	73	11	57	301
前年比		+27	-5	-1	0	-22	-1

- 令和6年中の認知件数は301件で、前年と同水準で推移した。
- 態様別に見ると、【不審者等】が大幅に減少した一方、【声掛け】が大幅に増加している。

(2) 対象者別

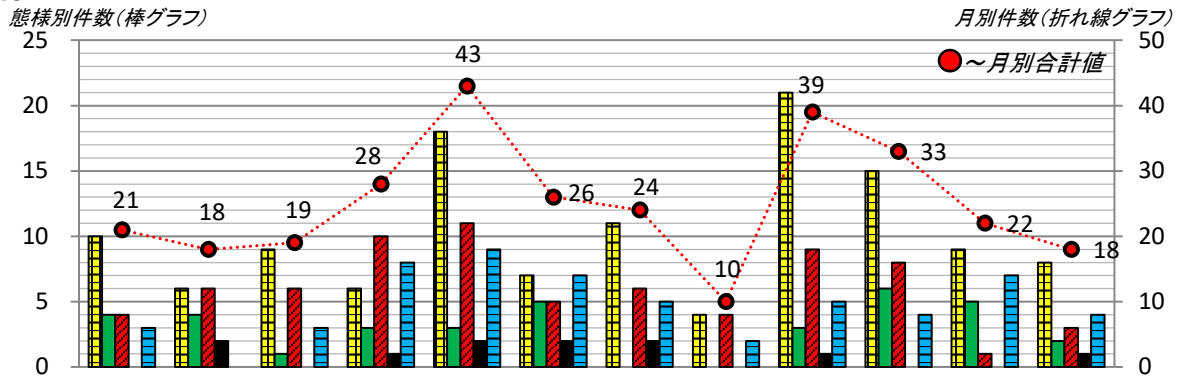


区分		小学生以下	中学生	高校生	社会人等	合計
	令和5年中	102	44	63	93	302
	令和6年中	99	52	66	84	301
前年比		-3	+8	+3	-9	-1

- 対象別に見ると【小学生以下】【社会人等】が微減し、【中学生】【高校生】は微増した。

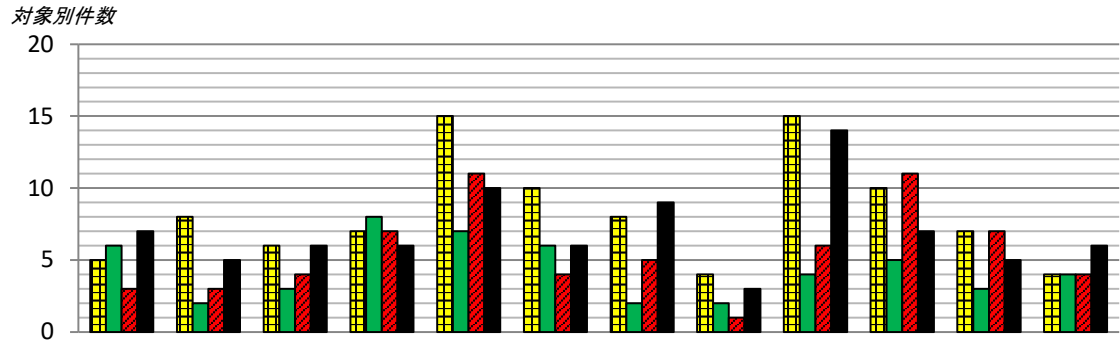
4 【月別】認知件数

(1) 態様別



● 令和6年中の月別の認知件数は【5月】及び【9月】が突出しており、比較的温暖な時期に増加する傾向が認められた。

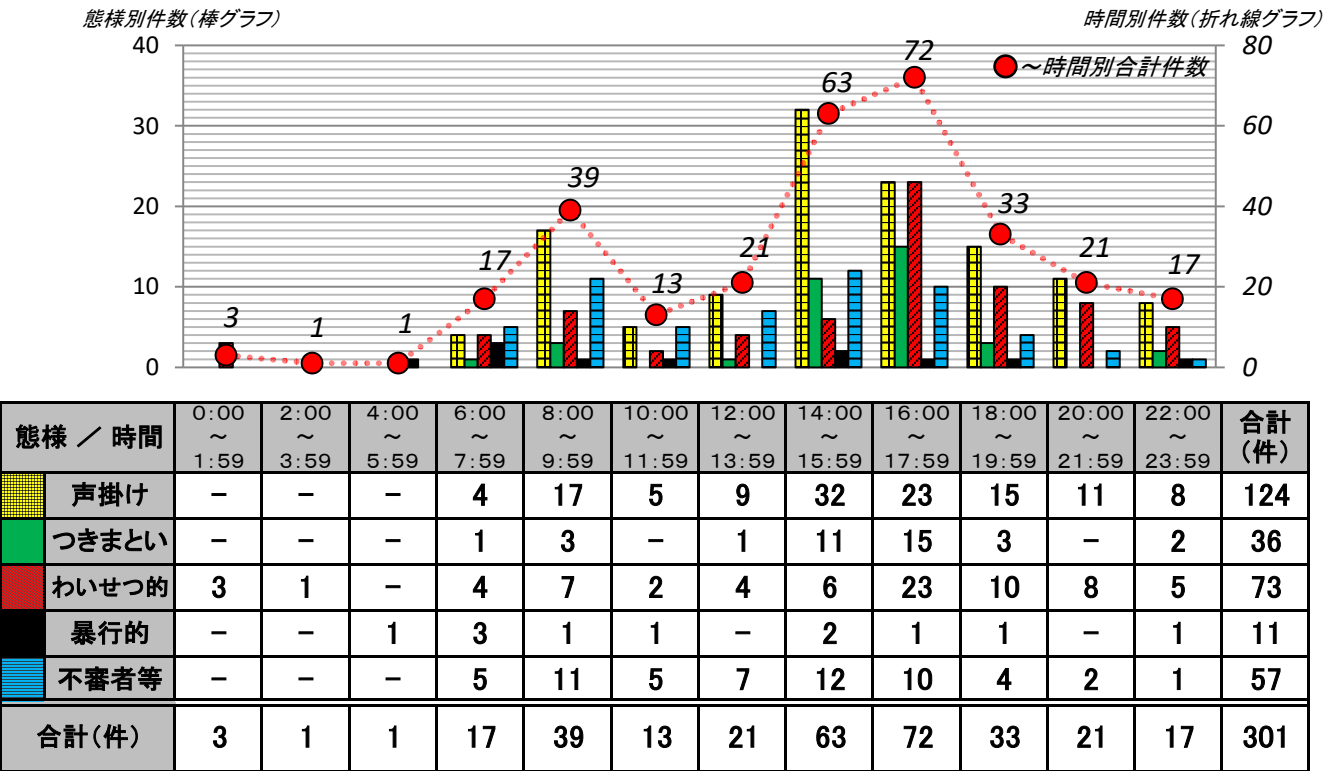
(2) 対象別



● いずれの対象も【4～6月】及び【9～10月】が被害のピークであり、春・秋期に増加する傾向が認められる。

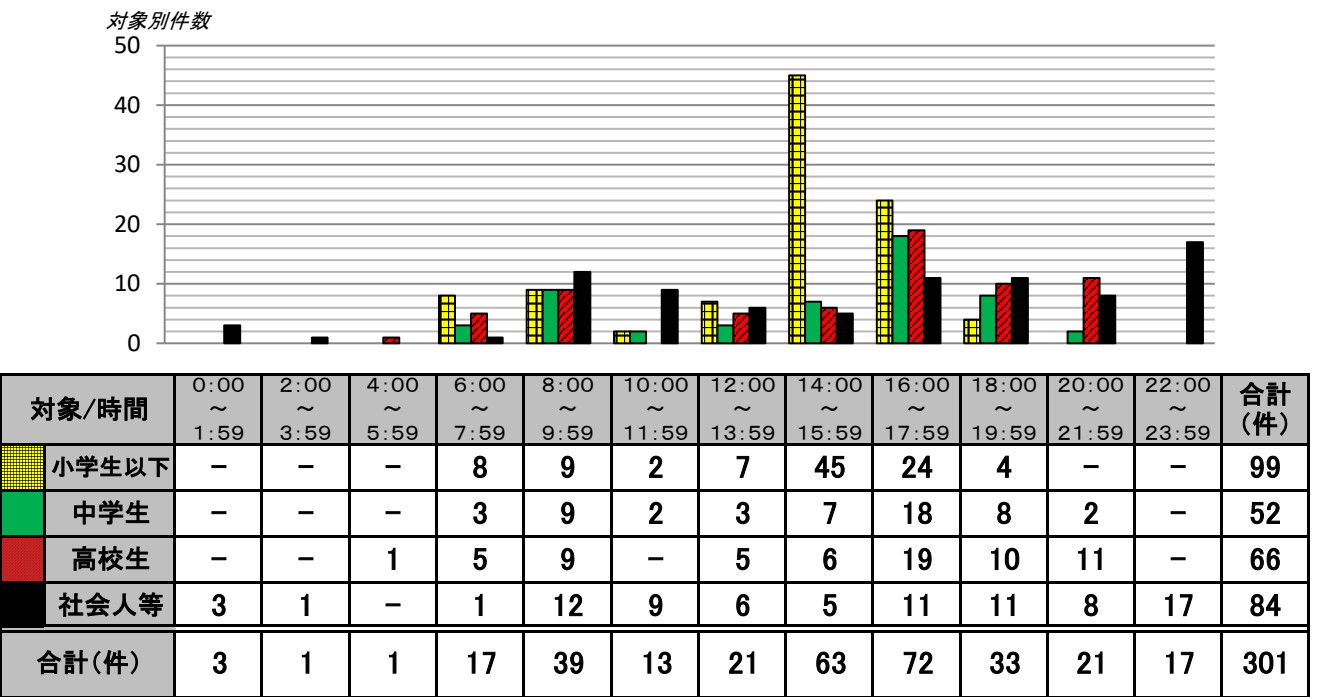
5 【発生時間帯別】認知件数

(1) 態様別



- 事案全体の6割近くが【午後2時～午後8時】の下校・帰宅時間帯に発生している。
- いずれの態様も前記時間帯に発生が集中しているが、特に【わいせつ的】は【午後4時～午後6時】の発生が多い。

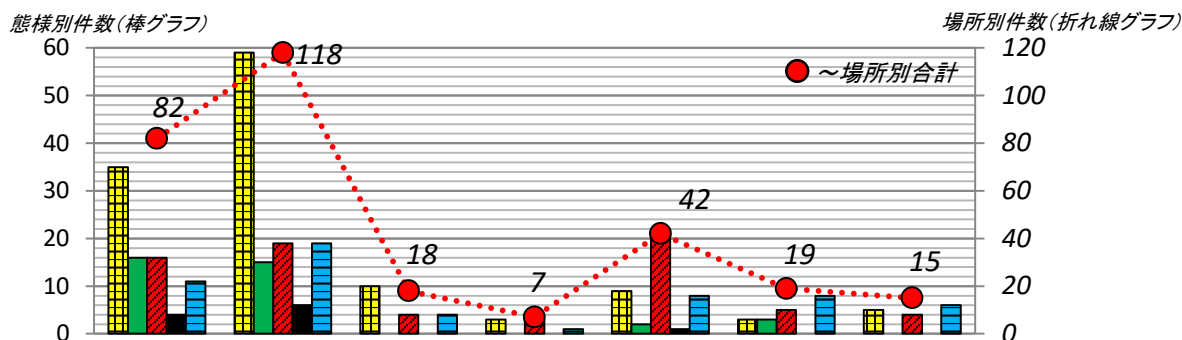
(2) 対象別



- 【小学生以下】は【午後2時～午後4時】の下校時間帯における被害が最も多く、半数近くを占める。
- 【中学生】及び【高校生】は【午後4時～午後6時】が最も多い。
- 【社会人等】は【午後10時～午後12時】の被害が最も多く、対象者の年代と比例して発生時間帯が遅くなる傾向が認められる。

6 【発生場所別】認知件数

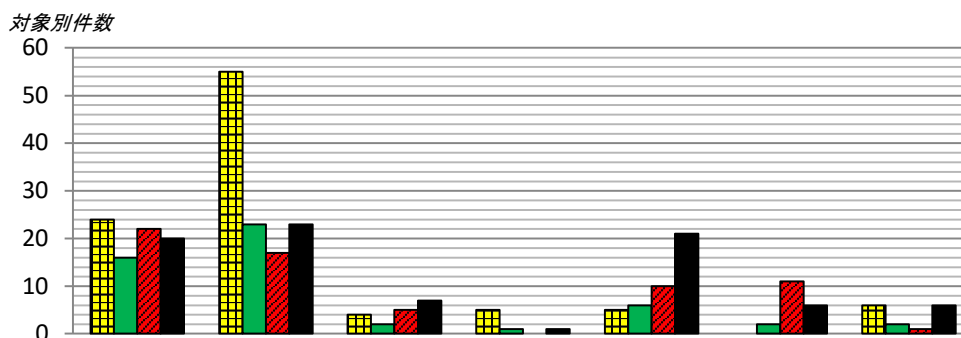
(1) 態様別



態様/場所	表通り	裏通り	駐車場	公園	建物内	電車・バス	その他	合計(件)
声掛け	35	59	10	3	9	3	5	124
つきまとい	16	15	—	—	2	3	—	36
わいせつ的	16	19	4	3	22	5	4	73
暴行的	4	6	—	—	1	—	—	11
不審者等	11	19	4	1	8	8	6	57
合計(件)	82	118	18	7	42	19	15	301

- 発生場所は【裏通り】が最も多く、次いで【表通り】、【建物内】の順に多い。
- 路上(【表通り】と【裏通り】)での発生が全体の7割近くを占める。
- 態様別では、【声掛け】【つきまとい】【暴行的】【不審者等】の発生が路上に集中する一方、【わいせつ的】は【建物内】が多い。

(2) 対象別

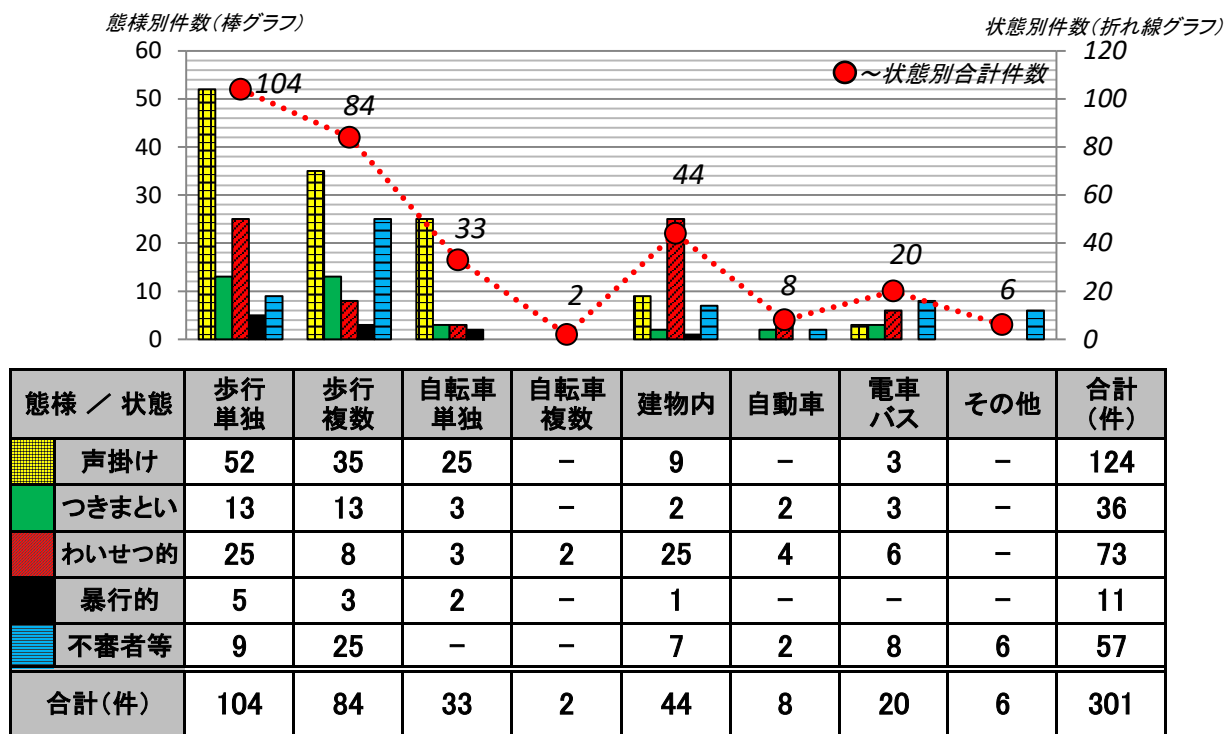


対象 / 場所	表通り	裏通り	駐車場	公園	建物内	電車・バス	その他	合計(件)
小学生以下	24	55	4	5	5	—	6	99
中学生	16	23	2	1	6	2	2	52
高校生	22	17	5	—	10	11	1	66
社会人等	20	23	7	1	21	6	6	84
合計(件)	82	118	18	7	42	19	15	301

- 【小学生以下】【中学生】【高校生】は路上での発生が最も多く、特に【小学生以下】では8割近くを占める。
- 【高校生】は他の対象と比べ【電車・バス】の割合が高い。
- 【社会人等】は他の対象と比べ【建物内】の割合が高い。

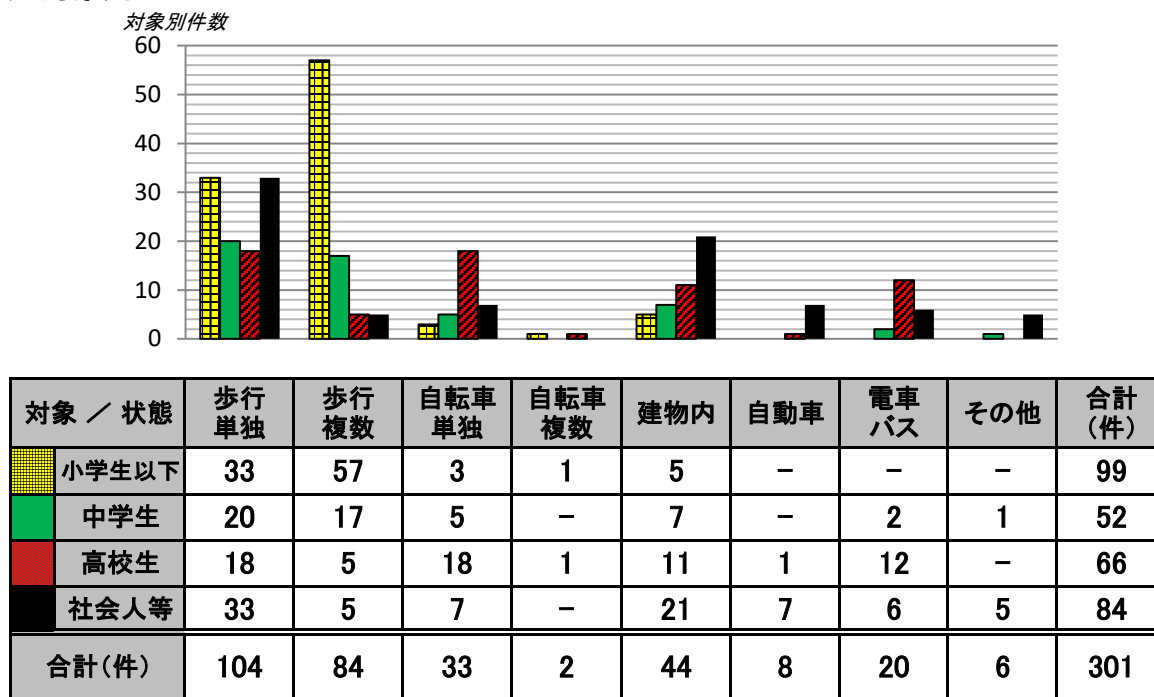
7 【対象者の状態別】認知件数

(1) 態様別



- 対象者の状態別では【歩行(単独)】が最も多く、次いで【歩行(複数)】が多い。
- 【歩行(単独)】と【歩行(複数)】の合計は188件で、歩行時の発生が全体の6割以上を占める。
- 歩行時に次いで【建物内】が多く、その内訳は【わいせつ的】が半数以上を占める。

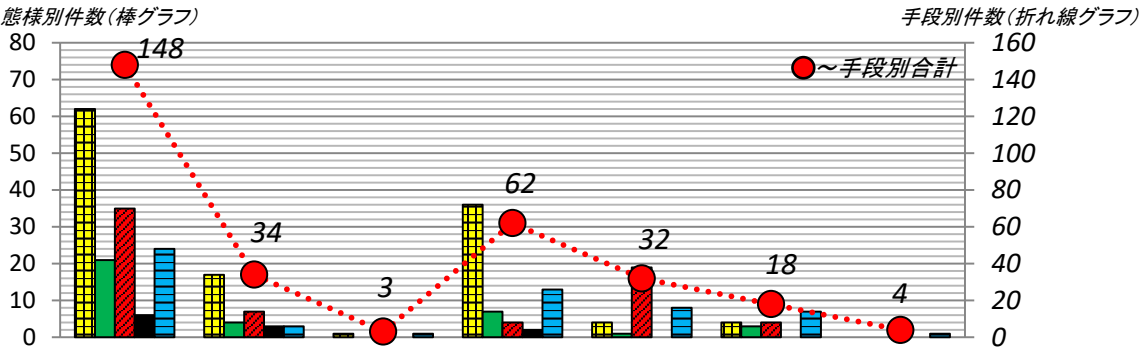
(2) 対象別



- 対象別に見ると、【小学生以下】【中学生】は【歩行】時の被害が大多数を占める。
- 【高校生】は他の対象と比べ、【自転車(単独)】及び【電車・バス】時の被害が多い。
- 【社会人等】は【建物内】での被害が最も多い。

8 【行為者の接近手段別】認知件数

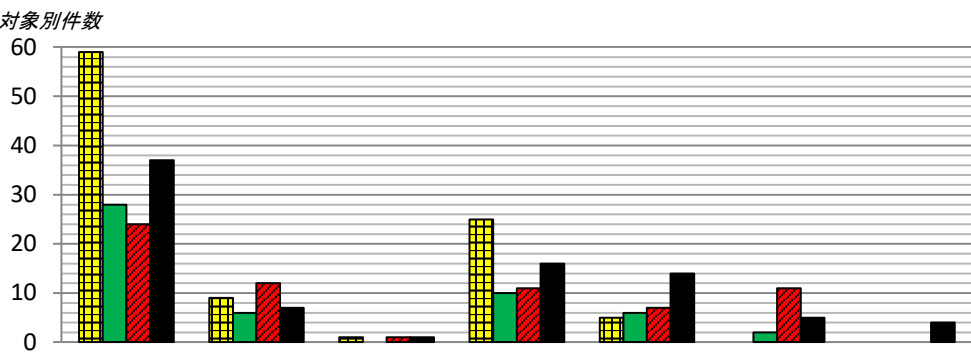
(1) 態様別



態様 / 手段		徒歩	自転車	バイク	自動車	建物内	電車バス	その他	合計(件)
声掛け		62	17	1	36	4	4	—	124
つきまとい		21	4	—	7	1	3	—	36
わいせつ的		35	7	1	4	19	4	3	73
暴行的		6	3	—	2	—	—	—	11
不審者等		24	3	1	13	8	7	1	57
合計(件)		148	34	3	62	32	18	4	301

- 行為者の接近手段は【徒歩】が全体の半数近くを占め、次いで【自動車】が多い。
- 態様別に見ると、【わいせつ的】は他と比較して【建物内】での接近が多い。

(2) 対象別



対象 / 手段		徒歩	自転車	バイク	自動車	建物内	電車バス	その他	合計(件)
小学生以下		59	9	1	25	5	—	—	99
中学生		28	6	—	10	6	2	—	52
高校生		24	12	1	11	7	11	—	66
社会人等		37	7	1	16	14	5	4	84
合計(件)		148	34	3	62	32	18	4	301

- いずれの対象へも【徒歩】による接近が最も多い。
- 【高校生】は他の対象と比較して【電車・バス】内での接近が多い。
- 【社会人等】は【建物内】での接近が多い。